

婦人科（子宮がん）検診車「しゃくなげ10号」の納車式を行いました。

令和8年6月24日、婦人科（子宮がん）検診車「しゃくなげ10号」の納車式を行いました。

「しゃくなげ10号」は、公益財団法人JKAの「競輪・オートレース補助金支援事業」により整備されたもので、受診者のプライバシーや快適性、環境性能に配慮した最新の検診車です。

当協会では昭和40年から子宮がん検診車による巡回検診を実施しており、これまで延べ220万人の方々に受診いただけてきました。新たな「しゃくなげ10号」を県内各地で運用し、一人でも多くの方に子宮がん検診を受けていただくことで、子宮がんの早期発見・早期治療と県民の健康増進に努めてまいります。

「しゃくなげ10号」の主な特長

・プライバシーに配慮した受診環境

車内に着替えスペースを設け、安心して受診できる環境を整備しました。

・静粛性と環境性能を向上

蓄電池を備え、発電機の稼働を抑えることで、たいへん静かな検診環境を実現するとともに、環境負荷の低減に配慮しています。

・受診者にやさしい昇降式診察台

病院と同等の昇降式診察台を採用（当協会初）し、乗り降りしやすく、高齢者を含めた受診者の負担軽減を図っています。



左：コセキ株式会社 千葉常務 右：当協会 鈴木会長